



宮崎県 株式会社かぐらの里 『ゆず（加工品）を世界へ』

【主な品目】

ゆず加工品

【主な輸出先国・地域】

米国、EU、台湾等（全21カ国）

【輸出取組の概要】

- ◆ オーガニック市場に着目し有機加工・高付加価値商品の開発。
- ◆ 「銀鏡（しろみ）有機生産組合」を結成し、慣行栽培から有機栽培への転換。
- ◆ 県やJETRO、輸出取引先と連携し、輸出先国のニーズを把握。

【輸出実績】（平成10年度より輸出開始）

	輸出額(前年対比)	輸出量(t)	出荷時期
令和5年度	117%	26	通年
令和4年度	125%	22	
令和3年度	290%	19	

【効果があった取組】

- ・有機JAS・FSSC22000（※）の認証取得により商談がスムーズに成立。
- ・英語版ホームページの作成。

※FSSC22000とは、安心安全な食品を消費者まで届ける仕組みの規格です。

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 ニーズの高い加工原料である有機ゆず栽培の作付け面積が不足。
- 2 収穫時期の労働力不足により、ゆずを収穫しきれず廃棄。

【生じた課題への対応】

- 1 有機認証機関と連携し生産者・社員の勉強会及び研修会等を実施。
- 2 「ゆずとりサポーター」募集システムを構築、SNSで発信。

【対応の結果】

- 1 慣行栽培の一部を有機栽培へ転換。有機栽培面積が7haから14haへ増加。
- 2 多数のサポートに来ていただき、大変、助かった反面、作業の説明等を毎回する必要があり、完全な人手不足解消とはならなかった。

【今後の課題・展望】

- 1 輸出拡大に伴う原料確保と園地拡大に伴う、労働力の安定確保。
- 2 輸出関連を含む営業・事務関連人材の確保・育成。
- 3 有機JAS、FSSC22000認証継続の業務軽減のため全面的なデジタル化に向けた取組。



海外展示会



農園の有機ゆず

【活用した支援・施策】 令和2～4年度GFPグローバル産地づくり推進事業、六次産業化総合化事業計画

【ウェブサイト】<https://kaguranosato.com>

【連絡先】担当者名：高橋久美子、TEL：0983-46-2121